

やまのかたりべ

第55章 ハヶ岳(硫黄岳 横岳)

今年は3月に入り暖かい日が続きました。例年より雪が早く減ってしまうのでは！？とちょっと心配になり、残りの積雪シーズンを楽しむ為アクセス便利な南ハヶ岳へ！

3月22日(日)

AM5時に起床。

今日は南ハヶ岳の登山口である美濃戸口に車を駐車し、そこから赤岳鉱泉、(小屋があり本日テントを立てる場所)を目指す。翌日、硫黄岳、横岳を登って時間があれば赤岳まで目指すコース。AM6時、小金井の我が家を出発。陽が昇るのもだいぶ早く、外は既に明るく爽やかな青空。

途中パーキングエリアで朝食を摂る。

9時15分

今回の登山口となる美濃戸口到着。念のためスタットレスタイヤを装着してきたが、一般道には雪はなくなっている。駐車場は前日土曜日から駐車されたと思われる車でほぼ満車状態。車で一度迂回するも駐車場所が見つからず、駐車場を管理しているハヶ岳山荘の方に聞きに行く事に。

さすが！ハヶ岳！！冬も大人気の山だ。ハヶ岳山荘の駐車場を確保できたので、早々に出発準備。

<ポイント1>

・ハヶ岳山荘 駐車代一日500円。日帰り温泉500円。宿泊可能。

・美濃戸口より先、赤岳山荘に駐車される場合はタイヤにチェーンが必要な箇所がいくつかある。

詳細は、<http://www.yatsugatake.gr.jp/yatugatake.html> ハヶ岳山荘。

9時35分

登山届を提出し出発。

ここから赤岳山荘まで一時間。何度も歩いたアスファルトの道、そして冬の雪道。

雪山を始めた頃は、単調なこの道を長い長いと感じたが今では短く感じる。

距離感もわかりだいたい慣れたようだ。

10時25分

赤岳山荘到着。

ここまで一般車(車高があり、しっかり冬タイヤの装備をしている車)も入れるため、ここにもたくさんの車が駐車されている。

ここで軽く軽食。暖かいので服の調整を行う。



10時45分

赤岳山荘出発。北沢と南沢の分岐点に出る。

今回は赤岳鉱泉に向かうため北沢コースに進む。ここから小屋まで地図上のタイムで2時間。

天気もいいのでのんびり向かう。途中カモシカにも遭遇。食糧探しに励んでいるのかな？

堰堤広場と言う場所をすぎてからは多くの下山者とすれ違う。その中には高校生らしき団体さんも。

十代のころからこの美しい雪山の世界を堪能しているのかと思うと羨ましい。

足にはしっかりアイゼンを装着されている。装備もばっちり。皆元気いっぱい。

そして、再び、登山学校校長の渡辺さんにも遭遇。(コレクション 358号参照)いつもの笑顔でご挨拶して下さる。軽くお話しした後、生徒さんと軽快なステップで下山されて行く。その後も数多くの登山者とすれ違うことに…。昨日はとても賑やかな山だった事であろう。

今回もピッケルは飛鳥シリーズを使用していると、「あれ、そのピッケル伸縮可能なの??」と尋ねてくる登山者の方がいる。すれ違いで混雑していたため、ゆっくりお話は出来ませんでした…。

本文の最後に商品の紹介をさせて頂く。

12時35分

今回のキャンプ地となる赤岳鉱泉に到着。
赤岳鉱泉名物のアイスクャンディー(人工アイス
クライミングの壁)も健在。

<ポイント2>

赤岳鉱泉。

テント泊一名一泊 ¥1000円。

水はテント泊の方も小屋から頂ける。

トイレ、外に有り。

アイスクャンディー:テント泊の方の使用料
¥1000円(道具レンタルは別料金) 宿泊の方は
最初の登録料¥1000円で1シーズン使用料無料。

詳細は:<http://www.alles.or.jp/~akadake/index.html> 赤岳鉱泉



何張りかテントがあるが、ほとんどが今日中に撤退するテント。しばらく紅茶を楽しみつつのんびりタイム。ある程度テントが撤収した後、自分達もテントを張る準備に。レッドパットのスコップが今回も活躍！今日の予定はここで一泊のため、テントを立てた後は夫と自分、本を読んだり写真を撮ったり、仮眠したり...それぞれの時間を楽しむ。

しばらくすると、撮影用の大きなカメラを持った外国の方と小柄な日本人の方が数人...何が始まるのかと思っていたらアイスクライミングの撮影が始まる。登る、止まる、セリフを言う、何度も何度もやり直している。

しかしプロの方なのでしょう、何ともなしにアックスとアイゼンを使用して楽々と氷の壁を登って行く姿、美しかった。

日が暮れて寒くなる前に夕飯をと思い、いつものように早い夕飯を摂る事に。本日のメニューはラーメン。野菜は前日自宅で切って洗浄後水きりしてラップせずそのまま冷蔵庫に。そうすることで野菜がおいしい具合に乾燥。お勧めです。もちろん愛用の生姜のチューブ。体ホッカホカメニューの完成！

外に出ると、いい具合に暗くなってる。

...撮影隊はと外を見ると、この時点でまだ行われている。そして一度休憩したかと思うと、19時ぐらいからライトをつけて再び開始。私達は寝袋に入ってうつらうつら

「もう一回!」「OK!」

「テンションかけてくださ〜い」...などなどの声が響きわたる赤岳鉱泉キャンプ場。

一つの作品が出来るまで、こんなにも時間と手間がかかっている事実をかいま見て脱帽！

3月23日(月) 晴れ

5時起床。

6時10分。

時間の関係で朝食は食べずに出発しようかと前日話していたものの、結局朝食を食べ出発。なだらかな林道のコースを進む。ショウゴ沢を通過し、しばらく歩くといいよ登り始める。大同心、迫力満点！！



(ひょっこり出ているのが大同心)

<ポイント 3>

八ヶ岳の大同心、小同心の由来とは…江戸時代の警備の役職名である同心から来ているとのことようです。

7時40分

赤岩の頭に到着。景色は最高！

<ポイント 4>

赤岩の頭から硫黄岳館は森林限界を超えた稜線で風が強いため、ここに出る前に防風・防寒の準備をしっかり装備する事をお勧めする。過去に、赤岩の頭から赤岳鉱泉方面に下る斜面で大規模な雪崩が発生。雪の状態を見ての行動を。

8時5分

硫黄岳山頂 標高 2760 メートル。

先ほどまで快晴だったのに、どんよりした厚い雲たちが日差しを隠し始める。山頂はとても広く、視界の悪い時は迷う可能性も考えられる。ここから硫黄岳山荘を目指し早々に出発。一度下りになり、ルートを示すケルンがところどころにあるが、ここも視界の悪い時にはルート間違えに注意。

硫黄岳山荘に到着する頃には、風がかなり強く、目出し帽を装着。

急な突風に足を持っていかれるため身をかがめて先に進む。

硫黄岳山荘から横岳まで稜線を進むと、梯子や岩稜帯が出て来る。



(横岳山頂に向かう途中)

9時45分

横岳山頂 標高 2829 メートル。

時々晴れ間が見えるが、どんよりした雲は変わらず。

しかし遠くの山々は見える。

アイゼンに慣れた方は、ここから地蔵の頭という場所まで、岩稜、梯子、トラバースする箇所としてお勧め。

雪の状態でレベルもだいぶ異なるが、私達が行った時は雪も落ち着いた状態でトレースもぱっちり付いているので歩きやすい状況だ。

11時40分

地蔵の頭赤岳と下山コースの分岐点、に到着。

今回は赤岳は行かず、下山する事に決定。地蔵の尾根も結構な急斜面だ。



12時10分

行者小屋に到着。

月曜日と言う事もあり、テント場は閑散としている。自分たちのテント場に向かう。

12時40分

赤岳鉱泉到着。

昨日の撮影隊が本日もアイスクャンディーで撮影中。

腕の筋肉は怎么样了のしょう？？スゴイですね。お茶を入れ軽食後、テントを撤収。

13時35分

登山口に戻る。天気がいいので途中で休憩をはさみつつゆっくり下山。

16時20分

駐車場の登山口に到着。

今日はレンタカーを返却する時間の関係で、急いで帰路につく。

今回も怪我無く無事下山。楽しい雪山二日間の登山。天気、道具。そして一緒に山を歩く仲間と夫に感謝。



(地藏の頭より阿弥陀岳)

3/22(日)

美濃戸登山口発 9時35分

赤岳鉱泉到着 12時35分

3/23(月)

赤岳鉱泉発 6時10分

硫黄岳到着 8時05分

横岳到着 9時45分

地藏の頭着 11時40分

赤岳鉱泉着 12時40分

赤岳鉱泉発 13時35分

美濃戸登山口着 16時20分

メンバー松田次郎・留美

文責:松田留美

今回の八ヶ岳登山で活躍した商品のご紹介。こちらEOJオリジナルアイデア商品です！！

自慢のニッポン。

飛鳥 シリーズ (ピックカバー、石突プロテクターつき)

他には無い伸縮性のピックルです。歩行時のバランス保持を目的とする縦走登山などでは、ラチェットにより伸ばす事で、ストック感覚に近い使い方ができます。



ハイキングや低山
趣向の方に最適

バイオレット飛鳥 (P2)

ヘッド部:クロモリ鋼(SCM435M)製
シャフト部:ジュラルミン(AT001)製
カラー:パープル
ヘッド部長さ:235mm
全長:59cm~84cm 重量:444g
ラチェット式
税込価格¥19,980(本体価格:¥18,500)



スタンダードモデル。
一般縦走用に最適

クロモリ飛鳥 (P1)

ヘッド部:クロモリ鋼(SCM435M)製
シャフト部:ジュラルミン(AT001)製
カラー:シルバー
ヘッド部長さ:240mm
全長:59cm~84cm 重量:460g
ラチェット式
税込価格¥19,980(本体価格:¥18,500)



エキスパートモデル。
氷壁や岩稜向けに最適

飛鳥スペシャル (P3)

ヘッド部:クロモリ鋼(SCM435M)製
シャフト部:ジュラルミン(AT001)製
カラー:グリーン
ヘッド部長さ:228mm
全長:60cm~85cm 重量:455g
ラチェット式
税込価格¥21,384(本体価格:¥19,800)